



Subaru

男声合唱団 ニュース№575

'16. 9. 2

「昴」第16回総会が開催される

8月28日・29日

次回コンサートの成功と更なる発展をめざそう

□8月28日(日)・29日(月)の両日昴第16回総会が開催されました。28日(日)の団内コンサートが16:30に終了し、そのあと「新大阪ユースホテル」に18:30に集合。夕食、風呂のあと、食堂で懇親会を開き、宿泊。

翌日29日(月)は同棟の大阪市青少年センターの会議室で午前中(9:00~12:00)に総会を開催しました。昼食後、同会場で9月18日に開催される「大阪のうたごえ発表会(LIC羽曳野)」の合発に向けて「わたらの朝は海からはじまる」と「白樺」の2曲のレッスンを行いました。なお懇親会は27名、総会及びレッスンの参加者は全32名でした。

□和やかな懇親会

千秋団長から、今日の団内コンサートの成功を祝し、メンバーの健闘と担当者の労をねぎらう挨拶と乾杯のあと、日頃の厳しい練習の合間、みなさん年相応に結構忙しい毎日の生活から離れ、用意されたビールを飲みかわしながら、たのしい歓談のひとつときをすごしました。



特に今年新しく昴に入団された方々は、名司会(進行役)の「質問」(誘導尋問?)にも快く、時には渋く、自分を語られました。前職での苦勞、昴との出会い・昴に入ったきっかけ、昴に入団してどうか?その想いを語っていただき、聞き入る団員に、ともに歌う仲間としての共感の感動を呼び起こしてくれました。



また一人一人の団員から、自分の現状報告も兼ねて、いろいろと語っていただきました。自分の合唱活動について、昂について、健康状態について等々・・・今回も吉田雄三さんが、手づくりの野菜料理やそうめんの馳走を用意していただきました。謝謝！



□活発な討論の総会



昂レッスン皆勤賞のみなさん！

□まず最初に千秋団長から開会の挨拶を兼ねて、次のようなメッセージが出されました。

「昂は今年1月、15周年を祝し、第10回目の記念コンサートを成功させた。念願のいずみホールでの成功であり、「地底の歌」特別団員との演奏成功であり、聴衆に昂の良さを存分に味わっていただけたコンサートであったと思う。

今、技術部を中心として、選曲も団員の思いを尊重しながら、新しい曲の取り組みが始まっている。特別団員であった方等の入団もあった。パートレッスン・声楽教室も取り組まれ、重厚な男声合唱の響きへの挑戦も結実しようとしている。

情勢は平和憲法を変えようと企む勢力が、国会で数で支配しようとする危険な動きや、アメリカトランプ氏やイギリスのユーロ離脱等に表れる、自国のみを優先的に考える動きなど複雑さを呈しているが、だからこそ、戦争をしない・させないという「平和」への強い国民の意思は、野党共闘などの形を一形態として広まり強まっている。

昂にはこの情勢の中、相撲でいう「心技体」が統一した、真実の響きが求められていると思う。最後に、「健康」が昂を発展させるためにも大きな課題になってきていると思う。病気をしないのが何よりだが、高齢化の中、一つや二つの問題を抱えていても不思議はない。病気と仲良く、上手に付き合い、ステージに立ち、歌えば若々しい声で、元気に、人々に感動を与えることができるうたごえを響かせていこうではありませんか。この総会が実り多いものとなりますように。」

□大島議長を選出し、配布済みの「第16回総会議案書」に基づき、「この1年の活動をふりかえって」の活動報告が立川事務局長から、「これからの1年の活動を展望して」としての活動計画が伊藤副指揮者から行われました。つづいて「技術部・組織部・広報部等各部からの報告」が各部長からあり、「2016年度役員体制(案)」「財政収支報告と会計監査報告」等それぞれの報告と共に活発な討議がされました。



□「この1年の活動をふりかえって」(1年間の活動報告)の中で、特徴的なところとして、
(1)「第10回記念コンサート」を「いずみホール」で開催し、多くの成果を上げたことの報告がありました。

- ①全指定席 821 席すべてを埋め、803 席を 2 か月前からチケット完売する財政担当者および団員の努力への評価。また財政的に黒字となり、その後の団活動・団財政に大きく貢献していること。
- ②20 曲余りの昴の得意な、しかしむつかしい曲を団員全員で元気に暗譜で歌い上げたこと。150 名の方から貴重なご意見・これからの昴の活動へのアドバイスや希望を含めアンケートをいただいたこと。
- ③「地底の歌」特別団員を募り、17 名が昴の舞台に立っていただいたこと。
- ④このコンサートを成功させたことによって特別団員から、また聴いていただいた方の中から 7 名の新入団員を迎えることができたこと。コンサートの開催やイベントへの参加活動が団員を増やすうえで重要であり、感動を与え、メッセージを伝えうる曲を歌い、すばらしい演奏活動を通して平和の歌を広げることが大切であることが今回のコンサートの教訓の一つと言えます。

(2)「演奏活動」の項では「中秋名月祭」「上町中学元気アップ事業」「新年関西中日歌舞音楽会」「うた新まつり」「橋本さんを偲ぶ会」「サムトウソリ」等。特に「上町中学元気アップ事業」での演奏出演は、中学生に昴の曲を 10 曲披露し大きな感動を彼らに与えたことは特筆すべきことである。これからも若い人たちと交流し(合唱団同士の交流もふくめて)、昴の本格的な合唱曲を聴いてもらうチャンスを作れたら・・との意見が出されました。

また、在日中国人の方々との合唱交流によって、新たに「関西紫金草合唱団」に若い人たちが入団されたことは、合唱団の若返りの効果の点からも注目されることです。

(3)「声楽教室」では、「吉田(末廣)亜矢子特別レッスン」の定着、新たに 2 組の「中村教室」が 6 月から始まったこと。「千秋教室」も新しい生徒の加入があり、「発声の基礎やコンコーネ」、日本歌曲や世界の歌曲を個人ごとに学習しており、団員に歌うことへの熱意が高まっています。

(4)「健康問題」に関連して、昨年度、偉大な功績と深い志に生きた故橋本邦久氏を逝かせたことは痛恨の極みでした。彼の昴への思いを継ぎ、健康に心を配って昴の演奏活動を続けましょう！

□「これからの 1 年の活動を展望して」(「新年度の運動方針」として以下の報告・提案等がありました。

(1)今直面している大きな課題として、大阪の合唱発表会で「白樺」「わしらの朝は海からはじまる」の 2 曲で推薦されるよう力を合わせよう！(「南部合唱発表会」での「わしらの朝は」は昴としては「恥ずかしい出来であった。」(昴の 1 団員・風邪のため聴き役として座席で聴いた感想も寄せられています。)

「縦の線が揃っていない!」「難曲である!」発表までレッスンはあと4回、まず全員が完全に暗譜して、推薦されるレベルまで高めることができるか?レッスンを休まないで!推薦されてみんな愛媛祭典へ行きましょう!

(2) 公演活動への取り組みについて

昂の魅力が以前よりもなくなってきたのか?他団体から昂への出演依頼が少なくなっている。他団体が積極的に取り組んでいることもあるが、昂の方から足を運ぶ。渉外活動をする。一つ一つの公演を「聴いてよかった!」としないと・・決まれば、どう成功させるか、出席できるメンバーを早めに決めて、演奏責任を必ず果たすようにする態勢作りをしよう!

(3) 第11回コンサートに向けた取り組みについて

運営委員会にて検討した結果、17年12月頃に開催することを決め、1,000人規模のホールで、会場を探す。曲目選定作業を進めている。どういう内容のコンサートにするか、今年末頃までにははっきりした企画を決定したい。

なお、技術部会からも、次年度(2016~17年度)の「最も大きな課題として」「第11回コンサート内容の企画立案と昂演奏曲目の選定&確定があげられます」ということで、技術部も役割を果たせるよう、各種提案・討議内容に加え、アンケート調査結果や団員からの希望・意見を参考に、本並先生の音楽知識と感性をたよりに、魅力あるコンサートになるよう企画を皆で作上げましょう。一人一人の歌う力を高める努力、レッスンへの出席率を高める努力、パートレッスンや個人レッスンの積み重ね。各パート内の相談・連絡・協力等団員一人一人に思いを寄せて、必要なケアの手を差し伸べる方法や体制をつくる努力をしましょう!

また「第11回コンサート」に関連して「第11回コンサートのための定期団員」を募集するかどうかも検討したい。

(4) 団員増を!!!

①現勢43人になった。若い人の入団は仕事が忙しくて困難な状況にある。月曜日や水曜日が休暇のサービス業で働く人(無理か?)や定年退職したばかりの人を対象にするのも大事。入団してよかった!と魅力のある合唱団となるように努力しよう!そのためにはレッスンを大事にする団づくり。外で演奏するときは心のこもった演奏・最高の演奏をすることが大事と思う。

②(提案・検討項目として)昂主催の「“歌う会”」をつくろう! («バッカスうたう会»(仮称)「歌って、酒も飲めて・・」企画・実行する3チームを作り交代でやっていくのはどうか?

(5) 演奏能力の向上のために

- ①団員一人一人が「合唱にふさわしい良い響きで歌えるように」
- ②呼吸・発声の基礎を勉強できる機会を、発声専門家の招聘を継続。
- ③末廣亜矢子レッスンの定例化:「欠席をしないよう!万難を排して出席を!」
- ④声楽レッスンの充実を奨励します。千秋教室・中村教室の充実。発展を!
- ⑤技術部活動の充実を目指す。

(6) パートレッスンの充実化を!

パートレッスンも昂の基本活動と位置づけ、団財政からレッスン費用をサポートする。パートレッスンに参加が困難なメンバーも都合を調整して出席するよう努力してほしい。

(7) 健康管理を!早期発見・早期治療で!

定期的な健康診断(人間ドック等)を! 癌や血管系の病気は早期発見・早期治療で。自己の健康管理に努めましょう。



□時間内に討議しつくされなかった問題は運営委員会や専門部会で深めていくこととし、「過去1年間の活動報告」「これから1年間の活動方針」「技術部・組織部・広報部等各部からの報告」「2016年度役員体制」「財政収支報告と監査報告」「次年度の予算と見通しについて」「男声合唱団「昴」会則」を挙手により満場一致で可決し、新年度の活動も新たに、総会の幕を閉じました。

□総会后、昴合発曲「白樺」「わしらの朝は海からはじまる」をレッスン

午後からのレッスンでは、本並先生の指揮で「白樺」「わしらの朝は海からはじまる」を2時間にわたって練習しました。あと3回のレッスンです。頑張っって合わせていきましょう。2日間にわたる昴活動で疲れましたが、充実した内容の2日間でした。



お詫びと訂正

昴ニュース 574 号のなかでお名前を誤記して載せました。

ご本人には大変失礼いたしました。訂正します。

誤 正

1 頁目：「川妻茂美さん」 「川妻成美さん」

2 頁目：「若園達夫さん」 「若園達雄さん」

「初めての団内コンサート、総会に参加して」

T1 山本宏司

昴に入団して5か月と少しの私には、何もかもが初めての経験ですが、団内コンサートの独唱に初挑戦。6月以降専門家の指導も頂きながら随分練習しました。途中風邪でダウンして、リハーサルもできない状態でしたが、何とか本番で歌うことが出来ました。自分で録音したものを聞き返してみても、出来栄は練習の成果が出ていない聞くに恥ずかしいくらいのものでしたが、団内コンサートという取り組みは人をやる気にさせるものだと強く感じています。来年はもう少しましなものを披露したいです。

総会にも秘かに驚いています。一年間の総括と今後の活動方針がきちっと記された資料が用意され、活発な議論がなされて決定されました。よく考えれば当然の取り組みなのかもしれませんが、合唱団でのこのような対応は何しろ初めてなので、とても新鮮でした。団の一員として役立つよう、励みますので今後ともよろしくお願いします。

(新入団員の山本宏司さんから、上記の投稿をいただきました。ありがとうございました。(広報部編集子)